

南三陸町長 来町

東日本大震災発生後、人口約2万人と大口町と人口規模がほぼ同じ南三陸町へ、毎年大口町から職員を1名派遣しています。

11月21日(月)、南三陸町佐藤仁町長が職員派遣のお礼に来町され、ほほえみプラザで、役場職員に向けて講話をおこないました。震災後、「二度と津波被害者を出さない」復興計画に基づいた住宅再建などの事業進捗状況や、現在の住民の皆さんの様子を伝えていただきました。

震災直後、家族や自宅も被災する中、体育館の廊下に寝泊まりし、不眠不休で働く職員と、常に「どうしたらできるのか」を念頭に考え、住民のためにさまざまな支援をした自衛隊隊員を「スーパーヒーロー」だと感



▲南三陸町 佐藤仁町長



じたそうです。最後に、首長のリーダーシップの重要性や、いかに被害を少なくするかという「減災」の考え方、全国からの支援を整理し効果的に住民に提供していくノウハウなど、細かく、震災を体験したからこそ伝えられる9点のアドバイスをいただきました。

復興に向けて猛スピードで、町の様子に変化している南三陸町。

多くの犠牲者を目の当たりにした佐藤町長の言葉一つ一つが、出席した職員の胸に響きました。近い将来起こるといわれている南海トラフ地震などの災害に対する心構えや、当事者となったときどう動くべきか。多くのことを学ぶ時間となりました。



▲被災した防災対策庁舎は盛土や新設される橋に埋もれてしまう程

大口町高齢者等実態調査について

大口町では、12月中旬から「大口町高齢者等実態調査」を実施しています。満65歳以上の方の中から、無作為で500人の方に調査票を郵送していますので、調査票がお手元に届いた方は、期限内の返送にご協力をお願いします。

また、要支援の認定を受けている方には地域包括支援センターの職員が、要介護の認定を受けている方には高齢者福祉協力員が、ひとり暮らし

し高齢者・高齢者世帯の方には民生委員が、それぞれ調査票の配布・回収をさせていただきますので、訪問の際には調査にご協力をお願いします。

なお、この調査は、(株)エディケーションが大口町の委託を受け、調査票の回収・統計・分析をおこないますのでご了承ください。

問合せ先 健康生きがい課

☎94-0051

平成28年度大口町消防観閲式



晴天の中、平成28年度大口町消防観閲式が11月13日(日)に大口町総合運動場でおこなわれ、消防団の規律ある部隊訓練や分列行進を披露しました。

幼年消防クラブである大口幼稚園の園児による元気いっぱいの特演練に、参加者の皆さんから大きな拍手が送られました。